

22年度決算概要 剰余金2.6兆円

半分の1.3兆円軍拡に

財務省が31日発表した2022年度一般会計決算の概要によると、剰余金は2兆6204億円に達しました。岸田文雄内閣は軍拡財源として決算剰余金の活用を方針としており、剰余金の半分にあたる最大1兆3000億円が軍拡財源に充てられる見込みとなりました。

したものの年度中に使いき
れずに余ったお金。財政法
では、剩余金の半分以上は
国債返済の財源に充てると
う規定しており、これまで
は残りの半分を経済政策
の裏付けとなる補正予算
の財源に充当してきました。
た。
剩余金が増加した背景
に、税収の上振れに加え
3743億円一です。

で、目標の予備費がありま
す。22年度予算に計上され
た予備費1兆7600億円
のうち、4兆1千200億円
が余りました。内訳は▽新
型コロナウイルス感染症、
原油価格・物価高騰対策予
備費2兆7785億円▽ワ
クライチ情勢経済緊急対応
費の原資は赤字国債で、専
主主義」に反します。予備
費は、憲法が定める「財政民
政府が使い道を決めるた
め、国会の監視が行き届き
ません。目標予備費の計上
は、憲法が定める「財政民
主主義」に反します。予備
費は赤字国債で、専
門家からは国債を軍事費に
回す「マネーロンダリン
グ」だと批判されていま
す。